

令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果について

1 調査の概要

(1) 調査日

令和6年4月18日(木)

(2) 調査内容

- ①教科に関する調査 小学校…国語、算数 中学校…国語、数学
②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

(3) 調査対象児童・生徒

小学校第6学年・中学校第3学年の全児童・生徒(知的固定学級在籍児童・生徒を除く)

2 調査結果

(1) 教科に関する調査〔平均正答率(%) 全国、東京都ともに公立学校〕

【小学校(6年生)】

		区	都	全国	都比較	全国比較
国語	R6	73	70	67.7	+3 ポイント	+5.3 ポイント
	R5	72	69	67.2	+3 ポイント	+4.8 ポイント
算数	R6	71	68	63.6	+3 ポイント	+7.4 ポイント
	R5	70	67	62.5	+3 ポイント	+7.5 ポイント

【中学校(3年生)】

		区	都	全国	都比較	全国比較
国語	R6	63	61	58.1	+2 ポイント	+4.9 ポイント
	R5	72	72	69.8	±0 ポイント	+2.2 ポイント
数学	R6	57	57	52.5	±0 ポイント	+4.5 ポイント
	R5	54	54	51.0	±0 ポイント	+3.0 ポイント

小・中学校ともに全国の正答率を上回っている。
小学校では、国語、算数ともに東京都の平均正答率を3ポイント上回っている。
中学校では、国語で東京都の平均正答率を2ポイント上回り、数学では同等である。数学「図形」「関数」の問題では、東京都の平均正答率を0.3ポイント下回っていた。
東京都や全国の調査結果と比較して、豊島区の児童・生徒には、概ね国語と算数・数学の学力が身に付いていると考えられる。

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

①児童・生徒質問紙調査〔肯定的回答率(%) 全国、東京都ともに公立学校〕

Q.5年生までに(小学校)、1、2年生のときに(中学校)受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。

【小学校(6年生)】

区	都	全国	都比較	全国比較
77.0	81.8	81.9	-4.8 ポイント	-4.9 ポイント

【中学校(3年生)】

区	都	全国	都比較	全国比較
74.7	80.6	80.3	-5.9 ポイント	-5.6 ポイント

Q.5年生までに(小学校)、1、2年生のときに(中学校)受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか。

【小学校(6年生)】

区	都	全国	都比較	全国比較
78.4	80.1	79.6	-1.7 ポイント	-1.2 ポイント

【中学校(3年生)】

区	都	全国	都比較	全国比較
72.5	76.2	75.4	-3.7 ポイント	-2.9 ポイント

②学校質問紙調査

Q.調査対象学年の児童・生徒は、授業では、自分で学ぶ内容を決め、計画を立てて学ぶ活動を行っていると思いますか。

【小学校】

区	都	全国	都比較	全国比較
77.2	70.9	61.2	+6.3 ポイント	+16.0 ポイント

【中学校】

区	都	全国	都比較	全国比較
50.0	63.3	55.3	-13.3 ポイント	-5.3 ポイント

Q.調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか。

【小学校】

区	都	全国	都比較	全国比較
86.4	88	87.1	-1.6 ポイント	-0.7 ポイント

【中学校】

区	都	全国	都比較	全国比較
100	83.7	86.6	+16.3 ポイント	+13.4 ポイント

授業における主体的な学びについての児童・生徒の肯定的な回答率は、東京都、全国と比べると低い。

小学校では、児童が学習課題や学習計画について見通しをもって学ぶ授業改善が進められているが、学んだことを生かして自分の考えをまとめる活動については、さらに充実させることが必要であると考えられる。

中学校では、学校は探究的な学習過程を見通した指導方法の改善に努めているものの、生徒目線では、生徒主体の授業作りが十分に行われていないことが考えられる。

3 学校への指導

本区の児童・生徒は、国語と算数・数学の学力が概ね身に付いていると考えられる。基礎的・基本的な知識・技能の定着を図り、思考力・判断力・表現力を育成する授業の工夫を継続するとともに、児童・生徒の主体的な学びを充実させていくことで、児童・生徒の資質・能力をより伸ばすことができると考える。

そのため、令和5年度に作成した授業改善のための参考資料「としまっ子の学び」を活用し、各種研修や学校訪問の際に、めあてとまとめを一体化した授業作り及び教師主導の授業から脱却した子ども主体の授業の実現に向けて、指導・助言を継続して行っていく。